

佳作

## ポンちゃん

愛知県 岡崎市立梅園小学校二年 近藤 伶海

ぼくの家には、うさぎがいます。ペットの「ポンちゃん」です。

色は白色で、耳がたれていて、目が青いうさぎです。ホーランドロップというゆるいのうさぎです。名まえは「ポンちゃん」といいます。女の子みたいな名まえだけどじつは男の子です。

ポンちゃんは、うれしいときに、

「ブーブー」

と、なきます。うさぎは、なかなかどうぶつだと思っていました。なので、はじめてきたときは、びっくりしました。このことは、うさぎの本「かい方・楽しみ方」にかいてありました。ほかには、ふまんがあるときは、うしろ足で「ダンダン」とつよくふみならします。かまってほしいときは、はなで、ツンツンしてきたり、手をなめたりしてきます。

いつもお母さんが、うさぎ小やのそうじをするとき、ポンちゃんをへやに出してあげます。そうすると、とてもうれしそうにはしています。ぼくのうしろをついてきたり、ぼくのまわりをぐるぐるまわったりします。ぼくもうれしい気もちになります。ひろいへやに出ると、うれしいんだなあとおもいます。ぼくも外であそぶときは、すごくうれしいのでポンちゃんの気もちがよくわかります。なのでながいじかんへやであそばせてあげたいなあとおもいました。

ポンちゃんは、今年の五月で五才になりました。うさぎの五才は、もうお年よりになっていく年れいみたいです。ポンちゃんもきょ年から足がわるくなってきました。からだがよくなってきました。小やに前足でもたれていると、うしろ足がよわっているの、ころがってしまふことがよくあります。これいじょう足がよわくならないように、へやにいっぱい出してあげたいです。いっぱいあそばせてあげると、きんにくがついて元気になると思います。これから元気で、ポンちゃん長生きしてほしいです。